

力強さと美しさを描きながら、 爽快感とゆとりを生む高効率パッケージ。

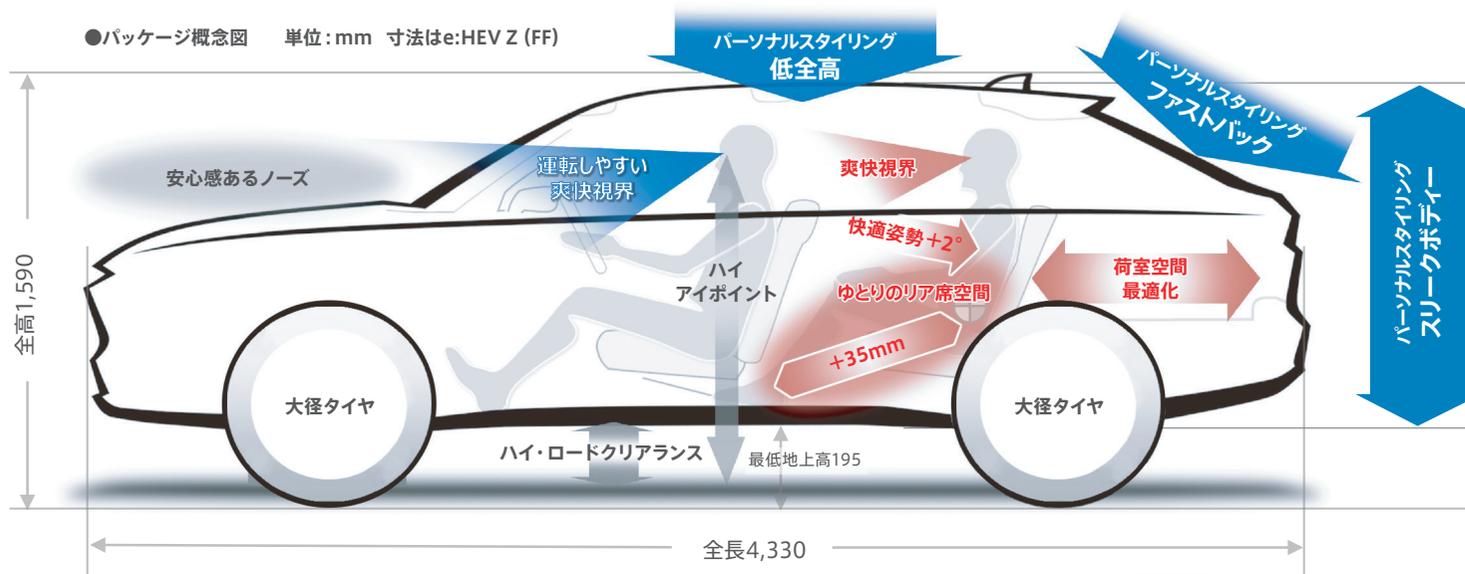
運転する人間だけでなく、時間を共有する同乗者にも快適であって欲しい。

そんな想いに応えるために、パッケージにおいてはSUVらしい力強さとパーソナルスタイルを描きながら、乗る人すべてが、爽快で愉しくなる居心地を追求しました。

その核となった技術が、Honda独自のM・M思想から生まれたセンタータンクレイアウト。

人を中心に考えたパッケージングで、理想とするスタイリングバランスと空間効率を実現しています。

●パッケージ概念図 単位:mm 寸法はe:HEV Z (FF)

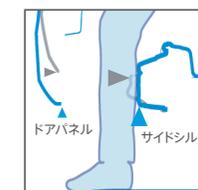


見やすく、運転しやすい、爽快な視界。

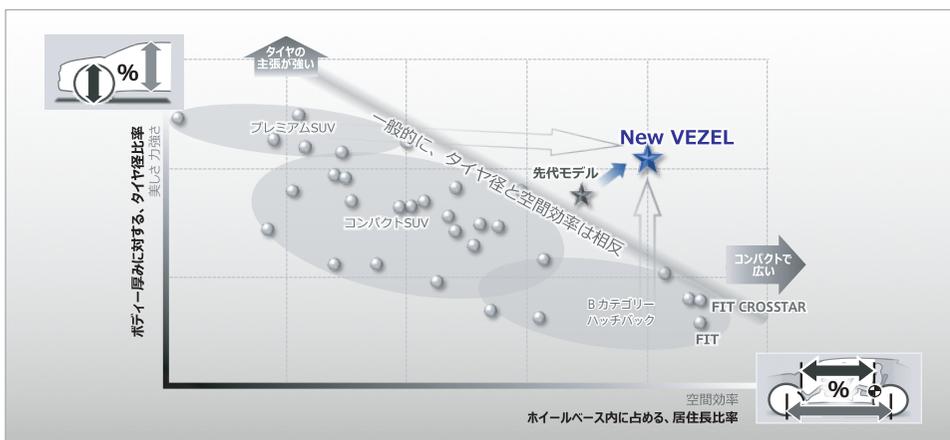
フロントピラーを後退させることでワイドな視野を確保。またボンネットフードからドアのショルダーラインへの流れを連続的にし、ドアミラーをドアのアウトパネル（ドアスキン）に付けることで、ピラーとミラーの間に隙間を設け、隙間から歩行者などを見やすくし、コーナー視界の視認性を向上。さらにワイパーを隠し視覚ノイズをなくすことで、抜け感のある爽快感と、自車の状態を把握しやすい視界を確保しています。

乗り降りもラクな、ゆとりのリア空間。

高効率パッケージにより、足元空間を先代モデルから35mm拡大。ゆとりを広げるとともに着座姿勢を2°寝かせながら上体をしっかりと支えるシートとすることで快適性を向上しています。また下見切りドア開口を採用することで、ドアを開けた際のボディーの突出を減らし、ラクな乗り降りを可能にしています。



●乗降時足つき性概念図



プロポーションと空間効率という相反する要素を高次元で両立。

プレミアムSUVといわれるクラスでは、大径タイヤとすることで、SUVらしい力強い佇まいをカタチにしていますが、その分、空間効率が悪くなりがちです。New VEZELは、センタータンクレイアウトにより、SUVらしいタイヤ径を維持しながら優れた空間効率で、ゆとりの室内空間を実現しています。

●プロポーション×空間効率の位置づけ